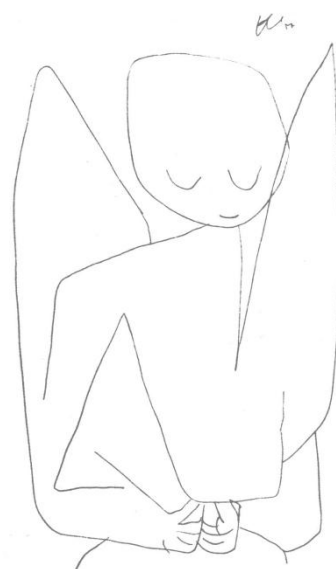


2024年9月6日

講演をお引き受けする条件について

私がまだ原子炉実験所で働いていた2011年3月11日に福島第一原子力発電所事故が発生しました。私自身は原子力の旗は振りませんでしたが、原子力の場にいた人間として、福島原発事故を防げなかったことについて、普通の人とは違う責任があるとの思いから逃れることができませんでした。それ以降、平日は原子炉実験所で働き、休日は各地での講演などに追われました。そして、2015年3月に私は京都大学原子炉実験所を定年退職しました。もうすぐ10年になります。退職とは単なる社会契約が切れることですが、定年とは歳をとったということです。その時、私は「仙人になりたい」と発言しました。生あるもの、老いと死は避けられません。私は自分の老いに自覚的でいたいと思ってきましたし、老醜をさらす前に自分自身で消えていきたいと思いました。しかし、福島原発事故は一向に収束できないままですし、被害者の苦難はますます深まってきてしまいました。そのため、容易には仙人になれないまま、今日まで来ました。

これからも生きている間は、どうしても私でなければならない仕事で、それを私に担う余力が残っているものについては担いたいと思います。私は、半年以上先は生きているかどうか分からないので、一切のお約束をしないことにしています。また、お引き受けできる仕事の量も減らし



パウル・クレー
Paul Klee
《忘れっぽい天使》1939, 880(VV 20)
„vergesslicher Engel“
Pencil on paper
© 1998, VG BILD-KUNST, Bonn

ていきたいと思っています。これまでは『敵地（原子力を推進する人たちとの論争の場など）』『現地（福島や原発を立地されてしまった地域など）』『若い人（これからの未来を担わざるを得ない人たち、及び、子どもたちに関わりのある人たち）』からのお誘いを優先的にお受けしてきました。今後もそうしたいと思います。

もし、私が引き受けるべきだと思われる仕事がある場合には、下に記したメールアドレスに早目にご連絡ください。私がすでにお引き受けした講演会については、下に記した私の HP の講演会情報のページ

(<https://www.go.tvm.ne.jp/~koide/Hiroaki/lecture.htm>) に記してあります。

小出 裕章

e-mail: koidehiroaki1949@yahoo.co.jp

HP: <http://www.go.tvm.ne.jp/~koide/Hiroaki/index.htm>